

就任にあたりて

愛媛県神道青年会会長
矢野 哲 夫



野も山も見渡す限り夏景色となりましたが、皆様方におかれましては社務に御奉仕に御精励のことと拝します。

さて、私 今年度より清家前会長の後を引き継ぐことになりました。本来、会長という器ではありませんが、会員諸兄の御協力を得て、本会を運営・発展させていきたいと思っております。つきましては、会員諸兄に

奉 祝
天皇陛下御即位六十年

若竹

第 16 号

昭和60年7月15日

発 行

● 790 松山市道後
桜谷町173
愛媛県神社庁内
愛媛県神道青年会
電話 0899-21-7875

お願いと共に御挨拶申し上げます。愛媛県神道青年会も、再発足致しましてよりはや、十余年が過ぎました。諸先輩方の的確な判断と行動力を以って本会を発足せしめ、幾多の事業をも達成せられ、今日の本会をみております。

私連会員一同は、発足当時の諸先輩の方々の意志を見直し、その行動力を学びとり、本会の維持・発展の礎としていかなければならないと思っております。そのためには、会員同志の連帯を深めるために内部事業を中心として親睦行事、各種研修会を行って行く所存です。本会の発展のためには、会員諸兄が積極的に参加していただくより他ありません。新入会員拡大と共に神青会発展のため御協力ください。そして、各事業に一人でも多く御参加をお待ちしております。

最後になりましたが、当神青会にたいしまして常日頃暖かい御支援・御助成頂いております各神社の宮司様方をはじめ、諸先輩方に厚くお礼申し上げますとともに今後尚一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。御挨拶いたします。

(二)宮神社 宮司

新 役 員

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	理	事	全	副	会
問	事											事	務	局	長	長
長	十	都	田	吉	越	清	三	佐	井	重	浅	田	湊	池	柳	矢
曾	龜	子	内	田	智	家	輪	藤	上	松	海	窪	内	原	多	野
我	興	野	逸	充	重	貞	長	忠	忠	正	宜	照	公	幸	洋	哲
部	美	清	和	邦	安	宏	貞	史	史	寛	英	久	彦	和	幸	夫
延	昭	彦														

祝祭日には
国旗をかかげましょう





四国地区神道青年会

戦没者慰霊祭報告

〔於 サイパン鎮霊神社〕 池内 公和

神道青年全国協議会四国ブロック主催による四県合同戦没者慰霊祭が六月五日四国四県会員九名の参加により、旧彩帆神社跡地に清流社の会員により再建された彩帆鎮霊神社で岐阜県護国神社戦没者慰霊団の参列をえて鎮座奉祝祭を兼ねた戦没者慰霊祭が執り行われました。

六月三日、大阪空港国際線ロビーで高知県三名 別役、山中、野村、徳島県三名 門家、福本、建島、愛媛県三名 清家、池内、湊、九名が集合し、二十時二五分発JAL1943便ジャンボで一路グアムへ、機内では前日が大安吉日のため九割り近くがアツアツの新婚組で、いささかの戸惑いを感じつつ三時間二十分のフライトでグアム国際空港に着陸、午前〇時四十分眠気と入国手続きの緊張の内無事今夜の宿泊ホテルグアム第一ホテルにチェックイン。

六月四日、早朝よりバスでグアム戦跡巡拝へ、そして休む間もなく再び空港にてサイパン島へ、サイパンの空港には清流社の会員の出迎えを受け、サイパンビーチホテルにチェックイン。一同で明日の祭典の打ち合わせを兼ねて夕食を取る。

五日、午前六時早朝ホテルロビーに白衣姿で集合、それより車にてマツビ岬へ、マツビ岬は島の最北端に位置し、断崖が海に切り立ったところで、当社のサイパンには在留邦人が二万人程居住し、南洋庁や南洋興発会社などがあり、戦前より日本国土として砂糖の産地として賑わいを見せ、町並みも内地と少しも変わらなかったそうで、六月十一日の米軍空襲より七月十八日の玉砕までに住民・軍人が、米軍に追い詰められて行き場所のなくなったこの地で、飛び込み自殺した所でその人数は一、〇〇〇人から一、五〇〇人とも言われ

米軍は、バンザイ・クリフ、と呼んだ所である。この地で南洋のあくまで碧い海に向かって一同で本土より持参したお酒、米、煙草を供えて、霊祭詞を唱えて慰霊祭を執り行う。

そして、次の慰霊地彩帆鎮霊神社へ移動、南洋の強い日差しの中、道路添いや民家のまわりに南洋桜、ハイビスカス、ブーゲンビレア、ブレマリアの花が咲き乱れ、まるでゴヤの絵が180度目の前で動いているような風景を車中より眺めつつサイパン公園地内の彩帆鎮霊神社へ、この公園は、元との砂糖集積場跡地で、其の一角に、旧彩帆神社境内跡がありその境内地に、清流社皆様の並み並みならぬ尽力により、先の戦により犠牲となられた軍人・一般国民の霊を永久に鎮め祭らんと此の度鎮座したのである。祭典には北マリアナ連邦ペドゥロ・エイ・テリオノ副知事、サイパン、観光局副局長ミス・ベネットセマン、岐阜県護国神社慰霊参拝団の参列を得て、当県元会長清家氏の齋主ほか八名の奉仕のもと慰霊祭を執行了。齋主祝詞奏上の後、御霊なごめの舞も奉納され、南洋の森に笛の音が響き渡った。そして、宿泊ホテルで午後七時より

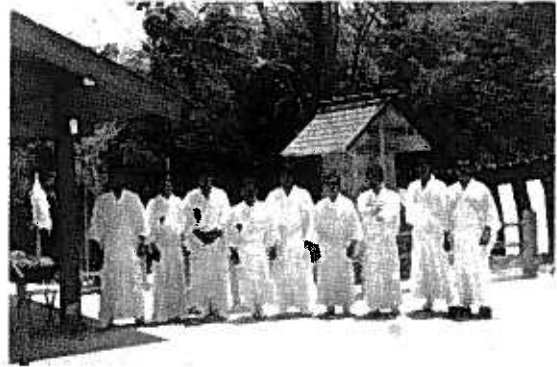
直会、副知事、観光局副局长、慰霊
 団代表、今回の慰霊祭に御世話にな
 ったサイパン島のミセス・イチハラ
 夫婦、テニアン島のハリー・クルス
 夫婦、皆機方の参加を得て楽しいひ
 とときをすごした。

六日、早朝サイパン空港よりチャ
 ターした六人乗りのセスナ機でテニ
 アン島へ、クルスさんにお借りした
 トラックに乗り込み、天仁中央神社を
 参拝。四十年の歳月にジャングルと
 成っていた境内地に、今も当事の石
 段や玉垣が残っており、本殿も当時
 の台座の上に再び鎮座せられていま
 した。

テニアン島は当事のB-29が、無
 着陸で日本本土を空襲出来る圏内に
 位置し、日本としても本土を防衛す
 る最前線でもあったため激戦となっ
 た島である。今でもB-29の滑走
 路が上空より眺める事ができる。

八月六日午前二時四十五分、原子爆
 弾を搭載したエラノ・ゲイ号が、こ
 のテニアン島の基地から広島へ向った
 のである。

時間の都合でその地点には行けなく
 なり再びサイパンへ、そしてグアム
 便に乗り換えグアム第一ホテルにチ
 ェックイン。今回の慰霊祭の成功と



反省を兼ねた直会をする。

7日、疲労の為にモーニングコール
 さえ聞き取れない午前2時、空港へ
 同午前七時二十分大阪着、解散。

なお、最後になりましたが今回の戦
 没者慰霊祭の旅に多大なる手配を
 していただきました四国ブロック理
 事の門家様、また現地にて交通の便
 祭礼準備に御配慮下さいました清流
 社会員皆様様に紙面をお借りしまし
 て参加者一同厚く御礼申し上げます。

※清流社

彩帆神社再建の奉賛会団体
 (加茂神社禰宜)

十分間にすべてをかけて！

井上忠史

最高年令 九二才
 最低年令 十二才
 平均年令 五二・三九才

この年令ははたして何でしょう？

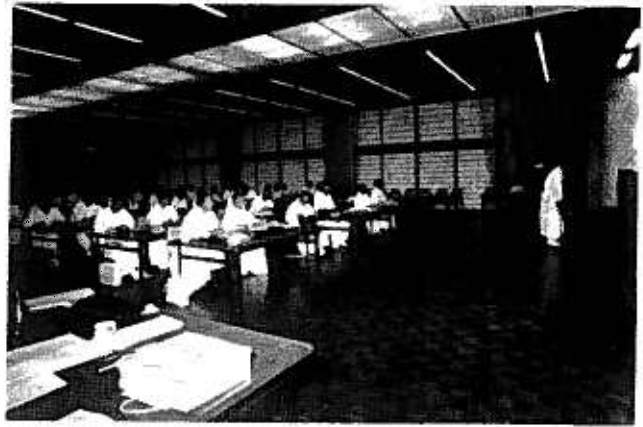
去る六月四日より七日まで松山市
 居相町伊予豆比古命神社・樺会館に
 おいて愛媛県神社庁地方研修所主催、
 西日本地区神道講演研究会協賛
 により「第三十二回神道講演研究会
 愛媛県大会」が盛大に開催されまし
 た。

神社本庁より石井寿夫・佐古幸嬰
 両講師をお迎えし、西日本地区より
 婦人神職七名を含む同志・有志六十
 余名が参加しました。本県よりも十
 名が参加しましたが、なかでも熊本
 県の浜田阿蘇神社宮司太田黒長門氏
 (九十二才)・福岡県の嘯吹八幡神
 社宮司初山吉凡氏ご夫妻と小学校六
 年のご令息、吉章君の参加が印象的
 であった。吉章君は学校長の理解を
 得て父母とともにやって来たが、学

校側の理解もさることながら彼の喉
 と度胸もたいしたものである。詩吟
 四曲をみごとに披露し親子三代参加
 の記録も樹立した。

研修会は一人二分間の自己紹介よ
 り始まった。二・三日目の午前中に
 石井寿夫先生の「これからの神道と
 新地球文化」——戦後四十年目の回
 顧と展望——と題する講義を拝聴し
 た。そのあと研修生各自が予め用意
 した講義にそって定められた時間内
 に神道に関する講話を行うのである。
 十分間に自分が日々の務めのなかに
 感じていること、いたいこと、研
 究したことを順序だてて発表するこ
 うことの難しさ。いくら自分がわ
 かっているにしてもそれは言葉を通して、
 はたして相手の胸にどう響くか？こ
 が問題なのである。

私たちは一応、神道の専門家であ
 る。だからいくらでも難しく話せる。
 しかしながら、やさしく話すことの



もとにして欠点を補い、内容の充実を図る。また、ほかの人の講話を聞いて問題のとらえ方・発想法・態度・構成などについて参考にする。ふだんからノート一冊用意し「講話原議」として思いつくままにメモするのもよい方法だろう。

次回は宮崎だそうである。私たちは青年神職にしかできないこと！それは平均年齢を引き下げることと青年神職ならではの発想を生かした講話をすることであろう。刺激を受けぬものの損である。難しく考える必要はない。ふだん感じていることを素直にいえばいい。だから、よけい、いきやすい。是非、参加をお勧めしたい。

国津比古命神社
禰玉比売命神社
禰宜

難しさ。若い人にもお年寄りにもまた子供にもだれにでもわかり感動を与える話しかたと講話の内容の検討。これは私たちが日常行う社頭講話の基本であろう。

他人の批評は大変参考になる。自分の講話に対して六十あまりの批評が感想文として提出される。これを



中国広州思い出の記 (II)

上 森 一 義

その一

「你好」(ニイハオ)こんな言葉が流行した昭和五十六年、呉から派遣されて広州外国語大学日本語学科で二ヶ年間教鞭をとった。

世は正に日中友好ムード、着任してまもなく女子学生達が「日中友好音頭」を唱ってくれた。その歌詞は

「待ちに待ってたヨー平和の使い
握る手と手の温かさアー
海と空から思いを載せてエー
夢とオー夢と希望を運びあう
ニイハオ你好ごきげんさん
日中友好いつまでも
いついつまでエーもオー。

というのである。曲は東京オリオンツピク音頭によく似ているのですぐ覚えた。この学生達は日本の流行歌もよく知っていて「四季の歌」「北国の春」「姿三四郎」など上手な日

本語で唱うのである。驚いたことに艶歌もよく知っていて、「夢追い酒」「港町ブルース」「大阪しぐれ」

等々「誰から習った」と聞くと「先生ここは広州。沖繩の電波OK」という。彼等は日本製のラヂカセを持っている。電波に困境は無い。街に行くと人民百貨店に「日本歌唱曲中国語版」のテープも売っている。私も一本それを買った。中国の人気歌手

李谷一(女性)の「今日わ赤ちゃん」「浜辺の歌」「青春時代」「水色のワルツ」「バラが咲いた」等々、

吾々日本人からみれば少し昔の歌なのだが、人民には人気のある日本音曲であるようだ。それよりも驚いたことは「蘇州夜曲」を歌う学生が居たことである。彼女達にとっては、

当時の時代背景も、歌詞の内容も気

にしていなかったのであって、曲、即ち旋律が民族を越えて人の心をゆすぶる、だから唱うのである。新春晚会（新年宴会）の席上、中国人教師で日本語のできるT氏など堂々と（徐州徐州と人馬は進むーと唱ったのだから、中国人民の、ものの見方、考え方の一端を知るべし、である。「いい物はいい、妙なことにコセコセとして気にしては、お互に進歩がない」「過去は水に流す時がくれば大河で流す、将来の前進こそが大事、おわかりですか 日本 中国の教官殿」「李は李、梅は梅しかし仲良く咲いて実を結ぶ」中国教師は異口同音に、マオタイを飲んで語り、ラオチユを傾けては話しかけてきた。「同種同根の仲だもの話せばわかる、いや唱えればわかる」と飲めぬ私が酔うほどに、張さん陳さん李さんの女子学生が「先生最新の演歌を一曲」との要望に応じて唱ったのが、川中美幸の「あなたひとすじ」。冬の無い広州新年の思い出。

その二

広州市の西南約四十キロに仏山市石湾鎮という町がある。昔から中国陶磁四大鎮と呼ばれた一つであ

り、現在では、景德鎮と、この仏山市の石湾鎮しか残っていない。日本人は景德鎮は知っていても石湾焼と言っても常識として知らない。ひどい日本人は石焼芋のおいしい所、と真面目に語った紳士もいる。石湾といっても湾ではない。地名の由来、町の歴史はさておき、中国の人民は「食器や台所品は景德鎮」芸術陶器は石湾鎮」という。知る人ぞ知る、劉伝、劉沢棉、廖雄標、馬海、といった現代中国が世界に誇る一流陶芸師、人間国宝ともいふべき芸術家達が日夜努力精進しているのである。だから隣りの香港商人達はこの一流人の作品に「銭に糸目をつけない」で窯出しの日を一日千秋の思いで待っているのである。私は正直言って石湾焼のことは学生の頃に恩師が語っておられたので知ってはいしたが、田舎の登り窯ぐらいいにか思っていなかったのである。それが、現地に行って始めて真価を知ったのである。そして機会をみては石湾鎮へ行ったので行くたびごとに陶芸人形を見る目が肥えていったのは当然である。行く時は日本語担当の中国教師の誰か一人が同行してくれたので助かった。この同行してくれる教師の中に

K兄弟がいて、弟の夫人が石湾出身ということもあって、色々教えて頂き大変勉強になった。

石湾焼の特徴は臙脂色が主流であり、次いで薄緑、白、紺であるが、何といっても臙脂が高価である。作品ジャンルは、人形、壺、花瓶、灰皿、壁掛の順である。この中でも人形は、史上の人物から仙人、羅漢、天女、さらに現代物として魯迅もある。これらの作品で大量生産される物には作者の銘は無くして底部にメイドインチャイナ印だけが押してある。劉伝師などは年間に数体しか作らないのであり、一体一体入念に仕上げて窯に入れる。窯から出してみて、もし気に入らない焼き上りならばその場で割ってしまう。だから一流陶芸家の作品は年間に数体なのである。そして驚いたことに、原像の鑄型は当局派遣の検査官の前で破壊してしまふのであり、再び同じ名作はできないのである。だから、数体の作品は高価なものとなり国家財政のドル箱となる。社会主義国だから、自由主義国の芸術家のように自由に作り自由に値段をつけて売ることが絶対できないのである。すべて国営の売場から当局の定める価格で公売さ

れるのであって、当然外貨の必要な現代中国だから外国相場であり高価な値段がつく。

さて、何回かこの石湾に通ううちに、運よく一流人の銘入り（底裏部に直接本人が柔焼前の柔らかいうちに姓名刻印を押す）名作の人形を数体入手できた。高価であったけれども、上級教授並の給料だったのでそれを外貨に交換して買ったのである。高給を飲み食いすれば良かったらうが、飲食の美味珍味は一時の楽しみ、名作は子々孫々の宝であり、楽しい話の種になり、永久に残る。今宵も、陶人形名作「鐘馗」と対話して中国を思い出している。

さらに、端溪硯、印材の名石もあるが、その話は紙面がないので、機会があれば書くことにします。

（愛媛県護国神社権祿宜 松山北高校国語主任教諭）



神青協 35周年 特別寄付金決算書

歳入の部

項目	金額	附記
1 寄付金	839,000	
合計	839,000	

歳出の部

項目	金額	附記
1 参加者助成金	360,000	交通費・その他
2 大会参加費	40,000	
3 負担金	60,000	四国四県連絡打ち合わせ会
4 その他諸経費	37,520	
合計	497,520	

歳入 839,000
 歳出 497,520
 差引残高 341,480

普通貯金繰入

四国地区禊錬成会決算書

歳入の部

会費・助成金	195,000	
合計	195,000	

歳出の部

玉串料・会場費	20,000	
諸経費	118,280	稜資料・寝具・食事・その他
合計	138,280	

歳入 195,000円
 歳出 138,280円
 差引残高 56,720円

一般会計繰入

お願い!!

青年神職会費は4,000円になっておりますので、未納の方は至急ご納付願います。会費は会運営の基本となるものです。よろしくご協力の程お願い申し上げます。



- ※ 会合にはできる限り出席しましょう!
- ※ 返信ハガキは必ず投函しましょう!
- ※ 時間は厳守(遅れる場合は連絡を)しましょう!
- ※ 会費は完納しましょう!

昭和59年度 歳入歳出決算書

歳入合計 金 1,843,567円
 歳出合計 金 1,720,124円
 差引残高 金 123,440円 次年度へ繰越

歳入の部

項目	本年度決算	本年度予算	比較		附記
			増	減	
1 会費収入	151,000	300,000		149,000	新年会費込
2 助成金	150,000	250,000		100,000	神社庁助成金
3 寄付金	377,000	500,000		123,000	
4 雑収入	405,000	49,433	355,567		定期解約・利子
5 繰越金	160,567	160,567			
6 積立金繰入	600,000		600,000		神々の祭り本代金
合計	1,843,567	1,260,000	583,567		

歳出の部

項目	本年度決算	本年度予算	比較		附記
			増	減	
1 会議費	299,597	250,000	49,597		
2 研修教化費	208,750	120,000			四国ブロック大会・その他
3 事業費	150,400	200,000		49,600	初詣ポスター
” ”	450,000		450,000		(神々と祭)小冊代金
4 広報費	46,000	150,000		104,000	若竹発行
5 事務費	115,740	70,000	45,740		
6 備品費	4,800	10,000		5,200	
7 旅費	220,000	300,000		80,000	
8 慶弔費	60,640	15,000	45,640		
9 負担金	161,000	130,000	31,000		神青協・四国ブロック・他
10 雑支出	3,200	5,000		1,800	
11 予備費	0	10,000		10,000	
合計	1,720,127	1,260,000	460,127		

別途積立金

普通貯金 359,953円

監査報告

上記各項監査の結果相違なき事を認めます。

監事 都子野 清彦 ㊟

柳原 幸 ㊟

昭和60年度 予 算 書

歳入の部

項 目	本年度予算	前年度予算	比 較		附 記
			増	減	
1 会費収入	300,000	300,000			
2 助成金	250,000	250,000			神社庁助成金 15万 時局対策費 5万 神政連青年行動隊 5万
3 寄附金	650,000	500,000	150,000		
4 雑収入	6,560	49,433		42,873	
5 繰越金	123,440	160,567		37,127	
合 計	1,330,000	1,260,000	70,000		

歳出の部

項 目	本年度予算	前年度予算	比 較		附 記
			増	減	
1 会議費	300,000	250,000	50,000		
2 研修教化費	200,000	120,000	80,000		四国ブロック大会・その他
3 事業費	150,000	200,000		50,000	初詣ポスター・その他
4 調査費					
5 広報費	100,000	150,000		50,000	若竹発行
6 事務費	100,000	70,000	30,000		
7 備品費	10,000	10,000			
8 旅費	300,000	300,000			
9 慶弔費	20,000	15,000	5,000		
10 負担金	130,000	130,000			神青協・四国ブロック・その他
11 雑支出	5,000	5,000			
12 予備費	15,000	10,000	5,000		
合 計	1,330,000	1,260,000	70,000		

歳入合計 1,330,000円

歳出合計 1,330,000円

昭和60年4月21日

愛媛県神道青年会会長 矢野哲夫

えひめ

今年一年の活動計画

- 一、中央研修会への参加(九州)
- 一、四国ブロック合同研修会への参加
- 一、促進(高知八月二十一・二十二日)
- 一、四国ブロック実践成会への参加
- 一、四国ブロック合同慰霊祭(サイパン・六月三・七日)
- 一、各ブロックの自主的活動を推進
- 一、式年遷宮啓蒙運動
- 一、新年互礼会の開催(南予)
- 一、会員の増強
- 一、神楽と雅楽の夕べ(一宮神社)
- 八月三十一日(土)予定
- 一、氏子青年会結成への努力
- 一、神育研修会の開催
- 一、その他役員会で決定する事業
- 事業委員会(中予)
 - ・ 初詣ポスターの配布
 - ・ 委員会決定する活動
 - ・ 「神々と祭り」小雑誌頒布
- 教化委員会(東予)
 - ・ 研修旅行の実施
 - ・ 各種研修会の開催
 - ・ 委員会決定する活動
- 広報委員会(南予)
 - ・ 会報「若竹」の発行
 - ・ 委員会決定する活動

研修ご案内

※ 四国地区神育・氏青 合同研修会

主催 神育協四国ブロック
 当番 高知県神道青年会
 期日 八月二十一・二十二日
 会場 高知市唐人町四一七 高知グランドホテル
 集合日時 八月二十一日十二時より
 受け付け 一時開会
 参加費 一二、〇〇〇円
 開催主題 「遷宮の、ころ、を守り伝える」
 講演・講師 神宮関係者予定
 その他映画・意見発表・自由討論・親睦ソフトボール大会

※ 四国地区実践成会

主催 徳島県地方研修所
 神育協四国ブロック
 当番 徳島県青年神職会
 期日 九月五・六日
 集合日時 九月五日 P.M. 一時
 会場 徳島県海部郡日和佐町日和佐 浦(日和佐八幡神社)
 永本正徳宮司
 講師 道彦 講演講師 森 武雄氏
 (石上神宮宮司)
 参加費 八千円

新入会員紹介

愛媛県護国神社

権福宜 吉田充邦

昭和三十六年二月二十六日生



昨年、武蔵総社大 国魂神社の御奉仕に終止符を打ち、

護国神社に奉職させていただくと共に、県神道青年会に加入させていただくことになった。

東京での満ち溢れた環境の御奉仕は大変勉強になったと思うが、今の護国の宮に眠る大君の為国民の為、大和桜の花と散った御英霊を思う時、また新たに底知れぬ深みのある神隨の大道を一步一歩歩まねばならぬ気持ちでいっばいになる。

それには青年会は絶好の励みの場であり、試練の場であると考える。諸先輩方の御指導のもと、神明奉仕に励み、自己研鑽を積んでゆきたいと思う。何卒今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

趣味 サッカー・雅楽

久保盛浩

昭和三十五年八月十一日生

二十四才

奉務神社 宇和島市和霊町一四五一 和霊神社出仕

宇和島市藤江一三四〇 多賀神社福宜

趣味 同級会の世話

抱負 マンウオッチング

皇学館高校卒業、国学院大学神道学科中退を経て、昨年の夏、国学院大学の神職養成講習会で正階を取得し、今年三月より和霊神社に採用されました。今は情熱に燃えています。同世代の神青の皆様と、いろいろ議論したく思っております。若輩者ですが、どうぞよろしくお願ひします。



会 員 お 歓 び

御田村俊一君は去る五月十八日、元会長長曾我部延昭氏（伊予豆比古命神社禰宜）のご媒約にて、ご神縁の随、椿神社神子稲田洋子様とご結婚されました。新生活のスタートを会員有志でお祝い申し上げます。

副会長柳原幸君は新婚早々に男女二児の父となり、目下育児に大わらわとのこと、八ヶ月目になりや々と慣れてきたそうです。どちらがお父さんに似ているかな？永祥くんと彩乃ちゃんの健かなるご成長をお祈り申し上げます。

神青協より

優秀会報賞を受く

神青協第三十七回定期総会の席上愛媛県神道青年会々報「若竹」に対し優秀会報賞を頂戴致しました。15号位でもらうのは少々おこがましかったけれど、矢野新会長が楯と賞状を意気揚々と愛媛に持ち帰り、神社庁に掲示しております



今後とも会報の充実を計り、会員相互の意識向上と研鑽のバイブにしたいと思っております。ご協力をお願い申し上げます。

退任のことば

——後進に期待して——
前会長 清家貞宏

去る第十四回定期総会に於て矢野新執行体制に青年会の未来を託し、会長として無事引き継ぎが出来ましたことは、会員一同の深いご理解と暖かい友情によるものと衷心より厚く御礼申し上げます。

昭和五十八年に会長に推薦され、第四代の会長として一期務めさせていただきましたときでしたが、在任中は不徳のいたす所で、思い返せばあれもこれもしたいと計画しておりましたが、万分の一も出来ず、会員諸兄にご迷惑をおかけ致しました。神青協の四国ブロック理事と会長の二足のワラジは体力的にも財政的にも困難ではありましたが重い荷物を肩から降ろし、今後は一会員として定年まで青年会の活性化の為に努力したいと存じますので、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(八幡神社禰宜)

編集後記

▼今年の梅雨は例年になく、長びき毎日／＼雨ばかり。雨の被害は少なくてすみませしたものの、心にはカビがはえた様です。

▼そろそろ恒例の夏の研修会が始まります。身心共にスツキリするため多くの会員の参加をお待ちします。

▼サイパン慰霊の旅では、戦後生れの青年神職が慰霊祭に奉仕し、感激をしました。旅行中はアツアツの新婚さんばかりで目のヤリバに困るほどでしたが、モデル撮影会に遭遇しご利益もあつたとか。

▼パンタのホアンホアンに子供が出来、日本国中大慶びのニュースもつかの間、下敷きになり死亡したという。我が神青会も再発足以来よちよち歩きでやっと立ち始めた頃、社会の荒波に押しつぶされぬ様、頑張ろう!!

▼優秀会報賞をいたゞき、編集部一同はりきっております。今後も原稿をドシドシお寄せ下さい。二度もご寄稿下さいました上森一義様どうも有難うございました。

(清家)